

松本空港に着陸した米軍機に関する経過

令和7年3月28日 11:00 現在

1 概要

- 3月25日15時01分に、米軍機（オスプレイ）が安全確保のため松本空港に予防着陸しました。
- また、15時35分には他の米軍機（オスプレイ）が着陸し、15時40分に離陸しました。
- 航空機の離発着に影響があるため15時45分に松本空港の滑走路を閉鎖し、FDA214便が県営名古屋空港（小牧空港）へダイバート（目的地変更）、FDA215便（新千歳空港行）が欠航しました。その後、他の航空機に与える影響が解消されたため、16時30分に滑走路の閉鎖を解除しました。
- 3月26日16時25分に、予防着陸機の整備部品を運搬した米軍機（オスプレイ）1機が着陸し、16時41分に離陸しました。
- 3月27日10時21分に、点検整備のうえ安全が確認できた予防着陸機が離陸しました。
- 3月26,27日の米軍機の離着陸に際し、民間航空機の運航に影響はありませんでした。

2 経過

<3月25日>

- 15:01 1機目が着陸（安全確保のための予防着陸）。
- 15:05 松本空港管理事務所（松本空港課経由）から危機管理部へ情報提供
- 15:35 2機目が着陸。
- 15:40 2機目が離陸。
- 15:45 松本空港管理事務所の判断により滑走路閉鎖。
- 16:15 北関東防衛局業務課長から危機管理部への情報提供により、2機とも普天間基地所属の海兵隊機（MV-22）と判明。
- 16:30 松本空港管理事務所が滑走路閉鎖を解除。
- 17:18 危機管理部から北関東防衛局業務課に対し、迅速な情報提供を要請。
- 17:50 知事緊急コメントを発出。
- 18:08 知事から北関東防衛局長に対し。情報の収集と共有、安全確保の観点からの適切な対応、明日の民間航空機の運航に影響が出ないよう米軍に求めることを要請。

<3月26日>

- 08:20 米軍整備士から空港職員及び北関東防衛局職員が聞取りを実施。
整備士から空港職員等に対して、今の体制では修理が不可能であり、
支援機に部品を載せて松本空港に空輸したい旨伝達。
- 午前 危機管理部より北関東防衛局を通じ、修理について他の手段による
ことができないか、検討を依頼。
- 11:28 知事から北関東防衛局長に対し、支援機の飛来に関して「松本空港
を軍事目的に供さない旨の協定を、長野県が松本市、地元4地区と
締結している」旨を電話により説明。
- 13:40 北関東防衛局長から知事に「米軍より、予防着陸したオスプレイへ
の早期対応の為、支援機（オスプレイ）が飛行予定」の旨連絡
知事から北関東防衛局長に対し、松本空港に着陸するとしても、民
間航空機の運航に絶対に影響がないようにすることを要請。
- 14:05～ 支援機の着陸について松本市・塩尻両市に連絡。以降支援機の情
報について両市と共有、両市は情報をHP、LINE等で市民に周
知。
- 16:25 支援機（オスプレイ）松本空港に着陸
夕刻 地元地区に松本空港課等から経過を説明。
- 16:41 支援機が松本空港から離陸

<3月27日>

- 10:21 予防着陸機が松本空港を離陸

<3月28日>

- 10:00 北関東防衛局長が来庁し、知事に経過を説明。
あわせて、知事から防衛大臣あての緊急要請を実施。
（要請文を北関東防衛局長に手交。）